



平成 30 年 12 月 3 日

各 位

会社名 日本アジアグループ株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 山下 哲生
(コード番号 3751 東証第一部)
問合せ先 取 締 役 瀧田 隆記
TEL (03)-4476-8000 (代表)

森林活性化事業の一元化に向けた体制強化に関するお知らせ

当社は、平成 28 年より新規事業として育成を開始した森林活性化事業の推進主体を当社子会社である JAG フォレスト株式会社に一元化し、同事業の事業推進体制をさらに強化することといたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

1. 森林活性化事業の取組みおよび事業分社化の目的

当社は平成28年に森林プロジェクトチームを立ち上げ、気候変動対策の緩和策である森林活性化事業に取り組んできました。平成30年11月末時点の社有林総面積は5,053ヘクタールとなり、徳島県を中心とする林業生産事業も順調に推移しています。また、平成29年11月には新潟県の地場大手製材・プレカット事業者である株式会社坂詰製材所（本社：新潟県阿賀野市、代表取締役会長：坂詰 一年）を連結子会社化し、林業および木材関連産業の成長産業化実現に向けた林業バリューチェーンの構築を進めてきました。

こうしたなか、このたび、山林不動産の仲介事業サイトである「山林バンク (sanrinbank.jp)」を傘下に加えることで、新たに森林不動産の売買取引を開始いたします。また、来年度から始まる「新たな森林管理システム」の下での森林・林業改革が注目されるなか、子会社の国際航業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：土方 聡）が展開する森林情報コンサルティング事業の商機拡大が見込まれています。

このような事業環境の下、グループの森林活性化事業は開始から約3年が経過し、本格的な事業推進体制が整ったこと、また、将来に向けて業容拡大が見込まれることから、なお一層の体制強化を図るべく同事業の一元化のための体制整備を決定したものです。

2. 承継会社の概要

(1)	名 称	JAGフォレスト株式会社
(2)	所 在 地	東京都千代田区丸の内三丁目1番1号
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 清見 義明
(4)	事 業 内 容	森林の経営および売買、木材等の生産、加工、販売等
(5)	資 本 金	10百万円

3. 森林活性化事業とSDGs

当社グループは、技術と金融のノウハウを融合し安心して安全、そして持続可能な「グリーン・コミュニティ」の形成を企業理念とし、SDGs(「Sustainable Development Goals」:持続可能な開発目標)の目標13「気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る」を起点にさまざまな事業を行っています。森林活性化事業では、目標15「陸の豊かさを守ろう」を中心に、さらに多くの課題解決につながるよう関係者との協働を進め、地域活性化につながる目標8、9、11、環境保全に通じる目標7、15の達成も同時に目指してまいります。

4. 今後の見通し

事業の一元化による当期の連結業績への影響は未定ですが、具体的な方法およびスケジュールなどを検討の結果、取引所の規則または投資者の投資判断に著しい影響を及ぼすものと判断した場合、すみやかに開示いたします。

以上